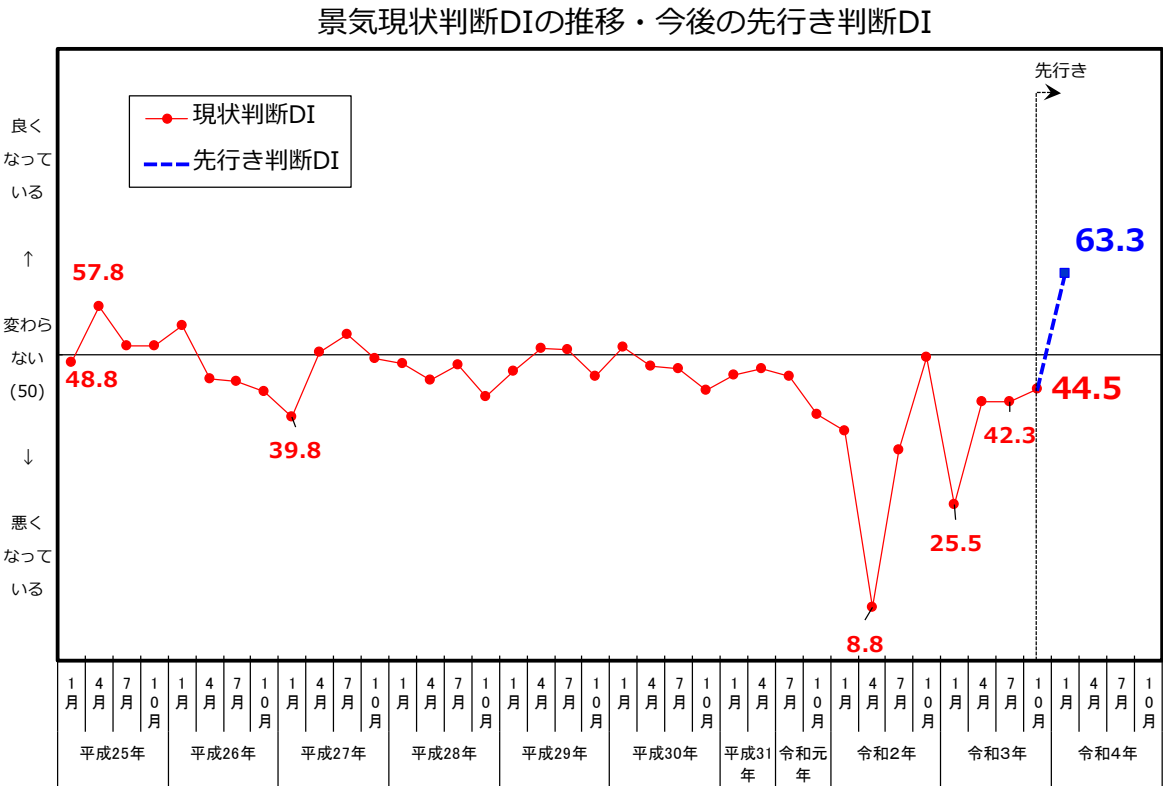


# 青森県景気ウォッチャー調査

## (令和3年10月期)

調査期間 令和3年10月1日～10月27日 回答率 100%

概 況
<p>10月期の景気の現状判断DIは44.5となり、前期から2.2ポイントの上昇となったが、景気の横ばいを示す50を15期連続で下回った。</p> <p>先行き判断DIは、現状判断DIと比べて18.8ポイント上昇の63.3となった。</p>



令和3年11月

青森県企画政策部統計分析課

## 1. 結果概要

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が2.0ポイント上昇、「やや良くなっている」が1.0ポイント低下、「変わらない」が3.0ポイント上昇、「やや悪くなっている」が2.0ポイント低下、「悪くなっている」が2.0ポイント低下となった。

全体では44.5となり、前期から2.2ポイント上昇したものの、景気の横ばいを示す50を15期連続で下回った。

判断理由では、ワクチン接種が進んだことによって人出が増加していることや、一部業種で少しずつ売上が増加しているといった声がある一方で、8月の感染者急増からの9月の県独自のコロナ感染防止策による売上の減少や、業況が底を打ったまま推移しているなどの声があった。また、新型コロナウイルス感染症への警戒感により、依然として状況が変わらないという声もあった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で5.0ポイント上昇、企業関連で11.1ポイント低下、雇用関連で7.1ポイント上昇となった。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、東青と下北は上昇、津軽と県南は横ばいとなり、いずれも景気の横ばいを示す50を下回っている。

### (2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

#### ① 県全体の動向

今期調査の現状判断DIと比べると、「良くなる」が5.0ポイント上昇、「やや良くなる」が37.0ポイント上昇、「変わらない」が25.0ポイント低下、「やや悪くなる」が6.0ポイント低下、「悪くなる」が11.0ポイント低下となった。

全体では、今期調査の現状判断DIと比べて18.8ポイント上昇の63.3となり、景気の横ばいを示す50を上回った。

判断理由では、緊急事態宣言の解除やワクチン接種が進んでいることに伴う人出の増加、今まで控えてきた反動による経済活動の活発化などを挙げる声がある一方で、新型コロナウイルス感染症の再拡大による第6波への懸念や先行きの不透明感を挙げる声があった。また、ウッドショックによる木材の価格高騰や食品の価格高騰など、物価の上昇による影響を挙げる声もあった。

#### ② 分野別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、家計関連全体で19.0ポイント上昇、企業関連で16.7ポイント上昇、雇用関連で21.5ポイント上昇となった。

#### ③ 地区別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、全地区でポイントが上昇した。

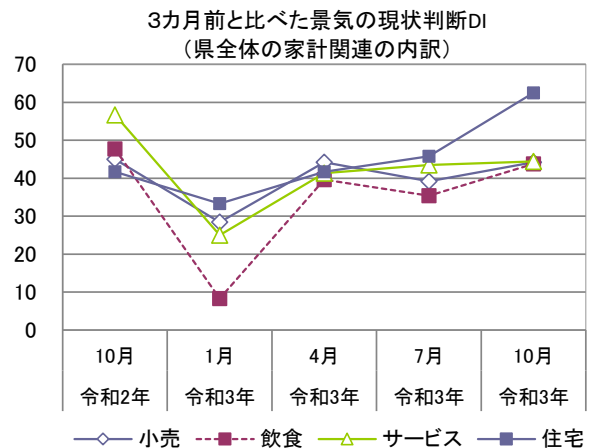
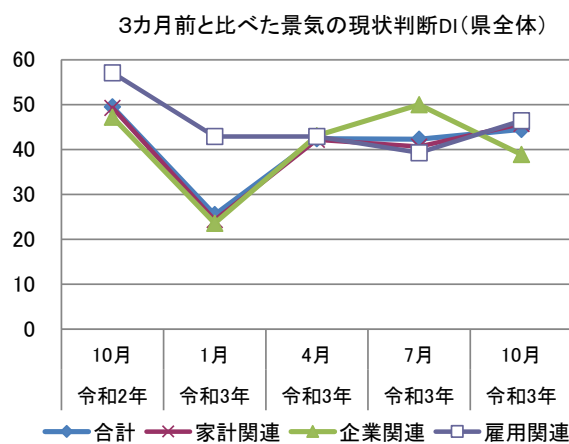
## 2. 県全体の動向

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

#### ①DI

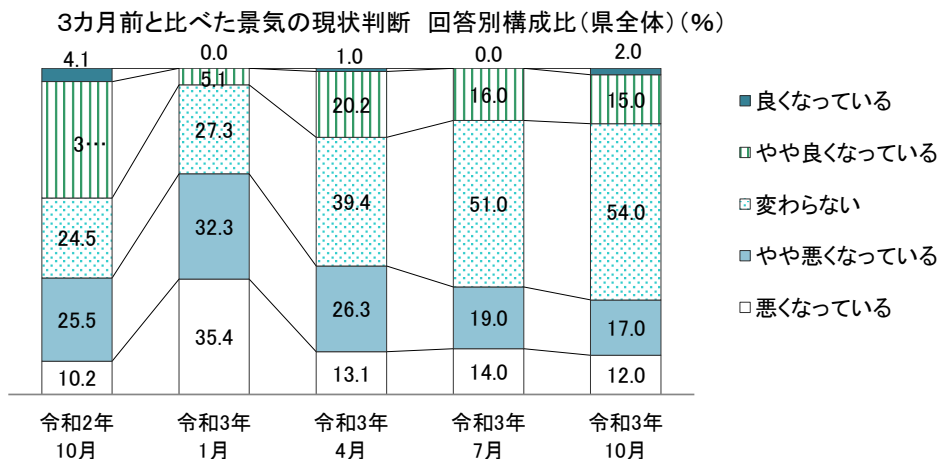
n = 100

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
合 計	49.5	25.5	42.4	42.3	44.5	2.2
家計関連	49.3	24.3	42.2	40.7	45.7	5.0
小売	45.0	28.4	44.2	39.2	44.2	5.0
飲食	47.7	8.3	39.6	35.4	43.8	8.4
サービス	56.7	25.0	41.3	43.5	44.4	0.9
住宅	41.7	33.3	41.7	45.8	62.5	16.7
企業関連	47.2	23.6	43.1	50.0	38.9	▲ 11.1
雇用関連	57.1	42.9	42.9	39.3	46.4	7.1



#### ②回答別構成比 (%)

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
良くなっている	4.1	0.0	1.0	0.0	2.0	2.0
やや良くなっている	35.7	5.1	20.2	16.0	15.0	▲ 1.0
変わらない	24.5	27.3	39.4	51.0	54.0	3.0
やや悪くなっている	25.5	32.3	26.3	19.0	17.0	▲ 2.0
悪くなっている	10.2	35.4	13.1	14.0	12.0	▲ 2.0



(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 100

	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	48.5	37.1	51.3	53.3	63.3	10.0
家計関連	50.0	38.5	53.4	53.3	64.7	11.4
小売	46.7	37.1	52.5	48.3	62.5	14.2
飲食	47.7	33.3	56.3	64.6	68.8	4.2
サービス	57.7	40.7	54.8	58.3	68.5	10.2
住宅	37.5	45.8	45.8	33.3	50.0	16.7
企業関連	43.1	27.8	43.1	52.8	55.6	2.8
雇用関連	46.4	46.4	50.0	53.6	67.9	14.3

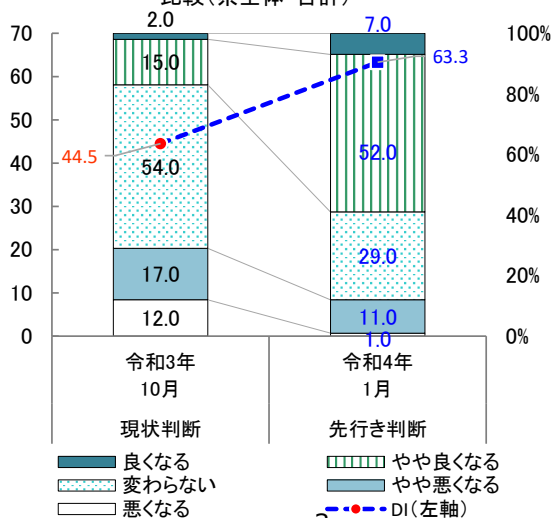
③ 今期の現状判断D I と先行き判断D I との比較

	現状判断 令和3年 10月	先行き判断 令和4年 1月	差
合 計	44.5	63.3	18.8
家計関連	45.7	64.7	19.0
小売	44.2	62.5	18.3
飲食	43.8	68.8	25.0
サービス	44.4	68.5	24.1
住宅	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	38.9	55.6	16.7
雇用関連	46.4	67.9	21.5

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和3年 10月	先行き判断 令和4年 1月	差
良くなる	2.0	7.0	5.0
やや良くなる	15.0	52.0	37.0
変わらない	54.0	29.0	▲ 25.0
やや悪くなる	17.0	11.0	▲ 6.0
悪くなる	12.0	1.0	▲ 11.0

現状判断と先行き判断との  
比較(県全体・合計)



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

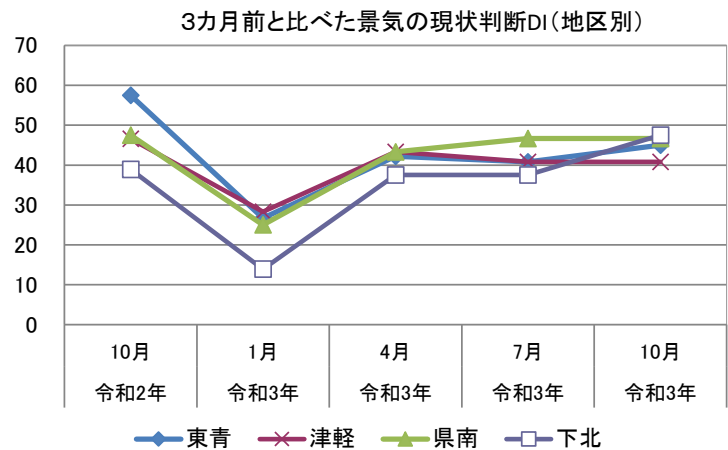
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

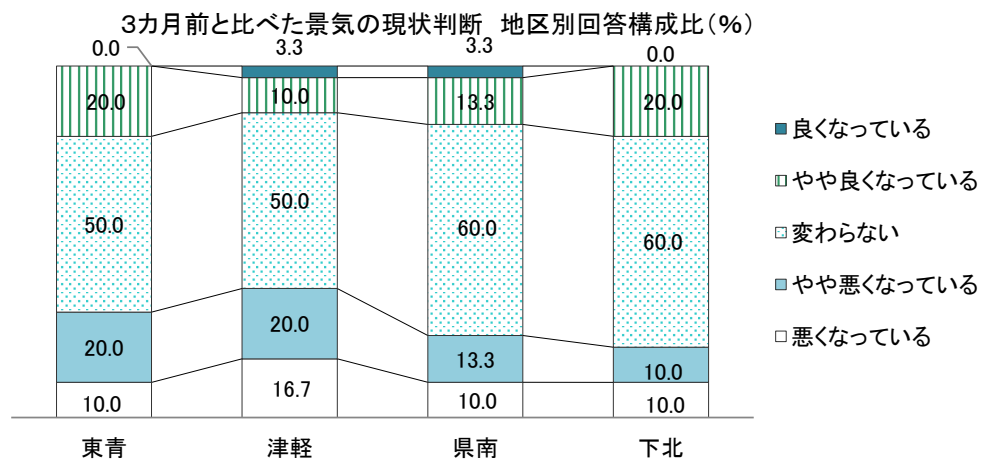
n = 100

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
合 計	49.5	25.5	42.4	42.3	44.5	2.2
東青	57.5	26.7	42.2	40.8	45.0	4.2
津軽	46.6	28.3	43.3	40.8	40.8	0.0
県南	47.5	25.0	43.3	46.7	46.7	0.0
下北	38.9	13.9	37.5	37.5	47.5	10.0



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	0.0	3.3	3.3	0.0
やや良くなっている	20.0	10.0	13.3	20.0
変わらない	50.0	50.0	60.0	60.0
やや悪くなっている	20.0	20.0	13.3	10.0
悪くなっている	10.0	16.7	10.0	10.0



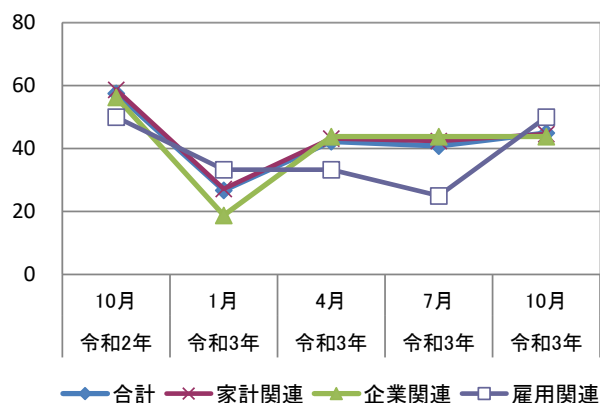
<東青地区>

①DI

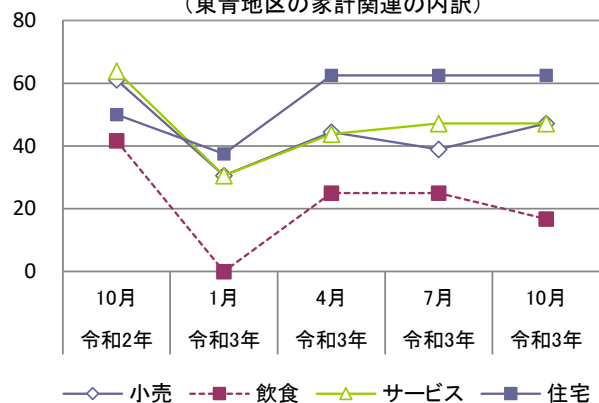
n = 30

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
合 計	57.5	26.7	42.2	40.8	45.0	4.2
家計関連	58.7	27.2	43.2	42.4	44.6	2.2
小売	61.1	30.6	44.4	38.9	47.2	8.3
飲食	41.7	0.0	25.0	25.0	16.7	▲ 8.3
サービス	63.9	30.6	43.8	47.2	47.2	0.0
住宅	50.0	37.5	62.5	62.5	62.5	0.0
企業関連	56.3	18.8	43.8	43.8	43.8	0.0
雇用関連	50.0	33.3	33.3	25.0	50.0	25.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



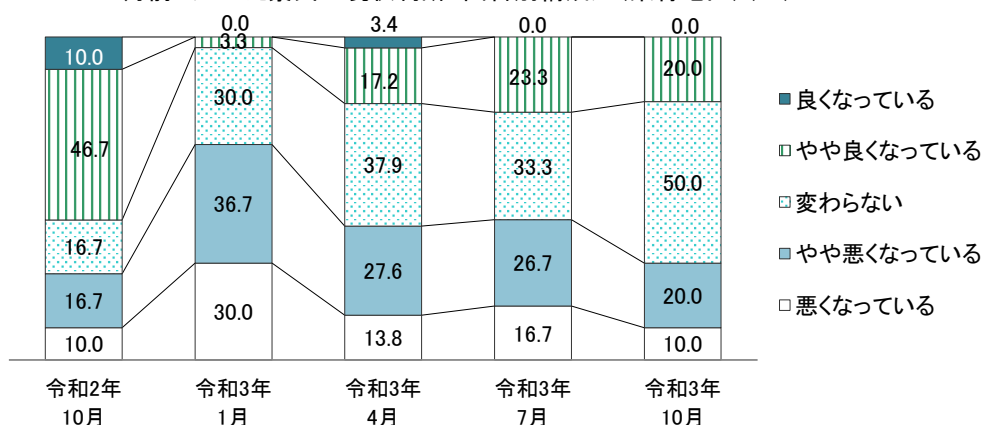
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
良くなっている	10.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	46.7	3.3	17.2	23.3	20.0	▲ 3.3
変わらない	16.7	30.0	37.9	33.3	50.0	16.7
やや悪くなっている	16.7	36.7	27.6	26.7	20.0	▲ 6.7
悪くなっている	10.0	30.0	13.8	16.7	10.0	▲ 6.7

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)

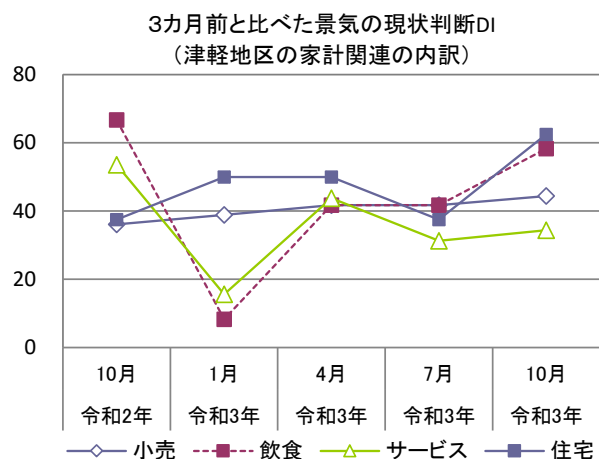
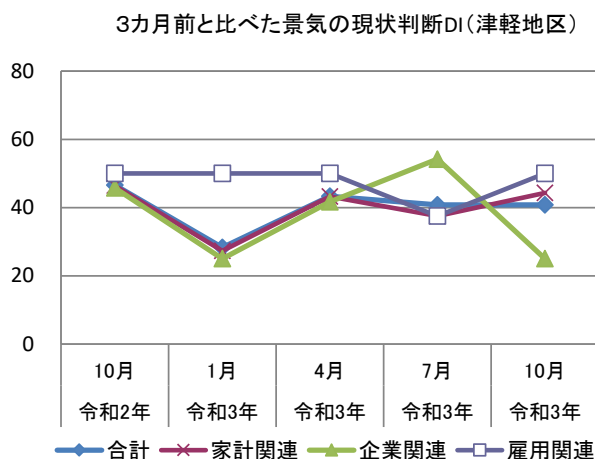


<津軽地区>

① D I

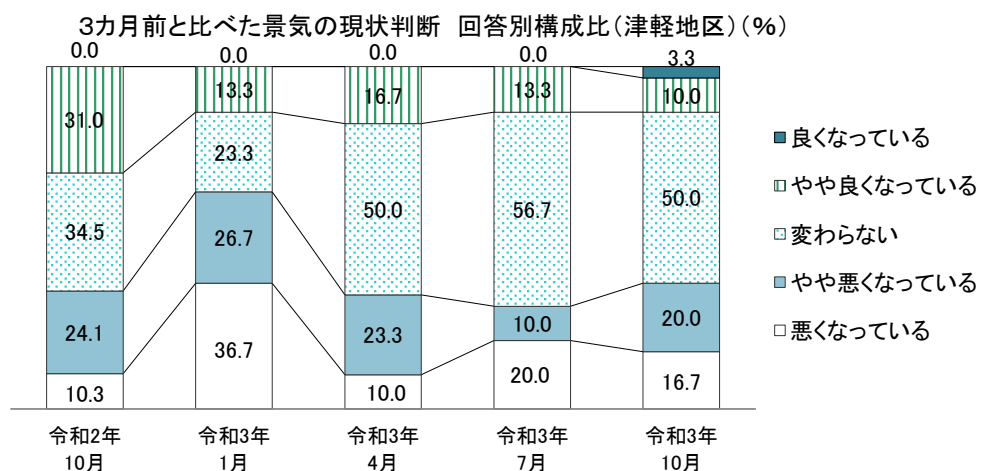
n = 30

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
合 計	46.6	28.3	43.3	40.8	40.8	0.0
家計関連	46.4	27.3	43.2	37.5	44.3	6.8
小売	36.1	38.9	41.7	41.7	44.4	2.7
飲食	66.7	8.3	41.7	41.7	58.3	16.6
サービス	53.6	15.6	43.8	31.3	34.4	3.1
住宅	37.5	50.0	50.0	37.5	62.5	25.0
企業関連	45.8	25.0	41.7	54.2	25.0	▲ 29.2
雇用関連	50.0	50.0	50.0	37.5	50.0	12.5



② 回答別構成比 (%)

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3
やや良くなっている	31.0	13.3	16.7	13.3	10.0	▲ 3.3
変わらない	34.5	23.3	50.0	56.7	50.0	▲ 6.7
やや悪くなっている	24.1	26.7	23.3	10.0	20.0	10.0
悪くなっている	10.3	36.7	10.0	20.0	16.7	▲ 3.3



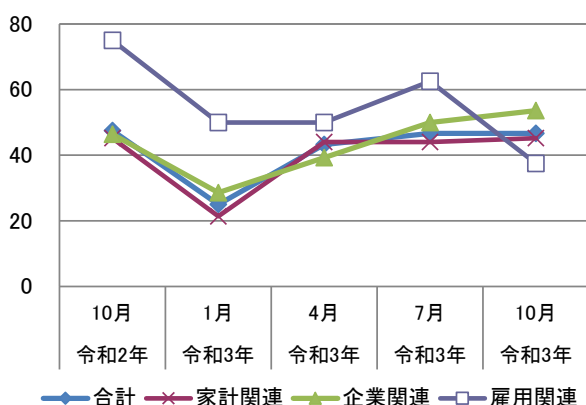
<県南地区>

① D I

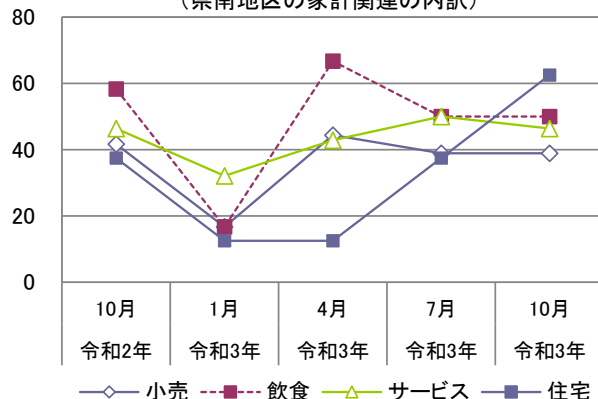
n = 30

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
合 計	47.5	25.0	43.3	46.7	46.7	0.0
家計関連	45.2	21.4	44.0	44.0	45.2	1.2
小売	41.7	16.7	44.4	38.9	38.9	0.0
飲食	58.3	16.7	66.7	50.0	50.0	0.0
サービス	46.4	32.1	42.9	50.0	46.4	▲ 3.6
住宅	37.5	12.5	12.5	37.5	62.5	25.0
企業関連	46.4	28.6	39.3	50.0	53.6	3.6
雇用関連	75.0	50.0	50.0	62.5	37.5	▲ 25.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



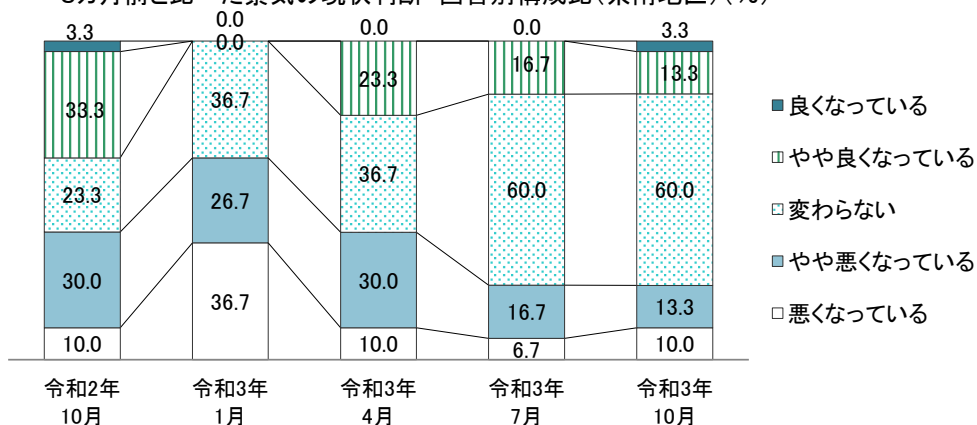
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3
やや良くなっている	33.3	0.0	23.3	16.7	13.3	▲ 3.4
変わらない	23.3	36.7	36.7	60.0	60.0	0.0
やや悪くなっている	30.0	26.7	30.0	16.7	13.3	▲ 3.4
悪くなっている	10.0	36.7	10.0	6.7	10.0	3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)



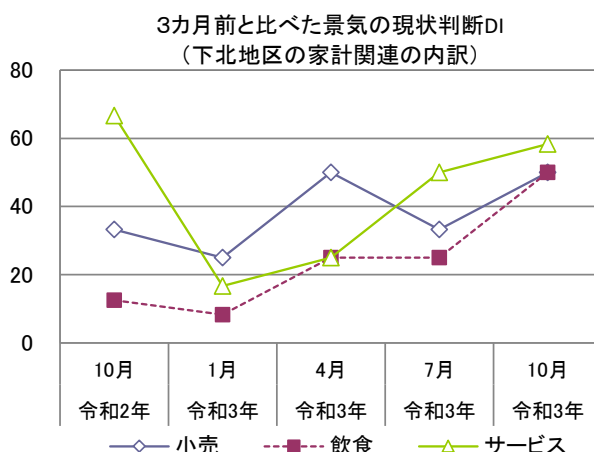
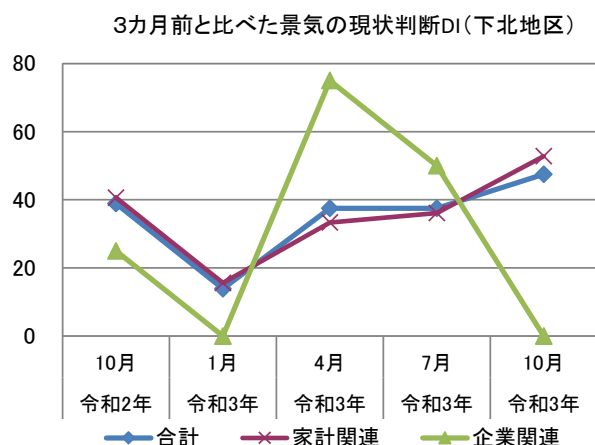


<下北地区>（参考）

①DI

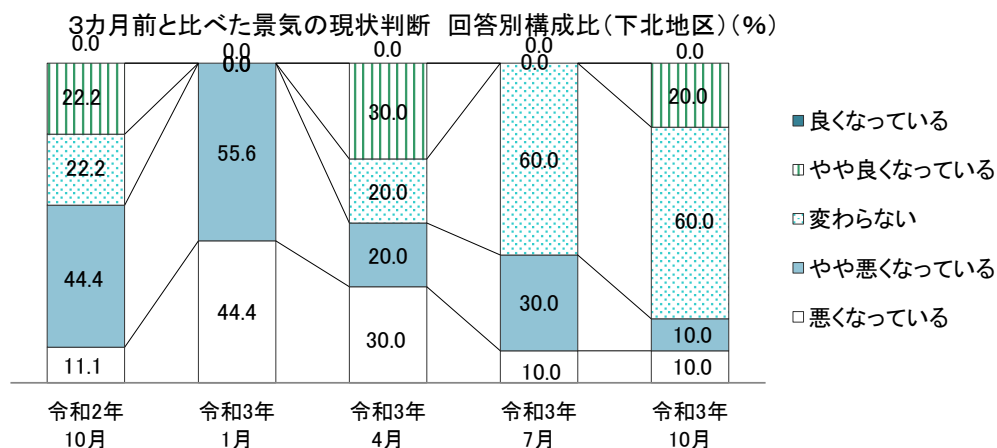
n = 10

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
合 計	38.9	13.9	37.5	37.5	47.5	10.0
家計関連	40.6	15.6	33.3	36.1	52.8	16.7
小売	33.3	25.0	50.0	33.3	50.0	16.7
飲食	12.5	8.3	25.0	25.0	50.0	25.0
サービス	66.7	16.7	25.0	50.0	58.3	8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	0.0	75.0	50.0	0.0	▲ 50.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比（％）

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	22.2	0.0	30.0	0.0	20.0	20.0
変わらない	22.2	0.0	20.0	60.0	60.0	0.0
やや悪くなっている	44.4	55.6	20.0	30.0	10.0	▲ 20.0
悪くなっている	11.1	44.4	30.0	10.0	10.0	0.0



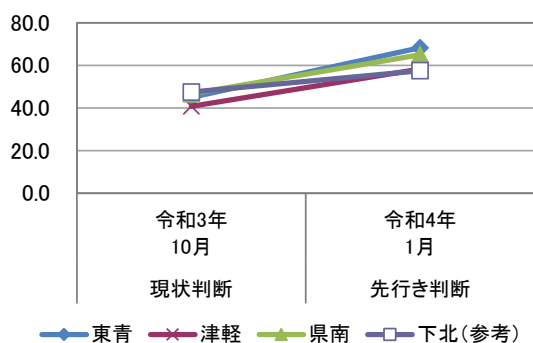
(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

<地区別>

①今期の現状判断D I と先行き判断D I との比較

n = 100	現状判断 令和3年 10月	先行き判断 令和4年 1月	差
合 計	44.5	63.3	18.8
東青	45.0	68.3	23.3
津軽	40.8	58.3	17.5
県南	46.7	65.0	18.3
下北	47.5	57.5	10.0

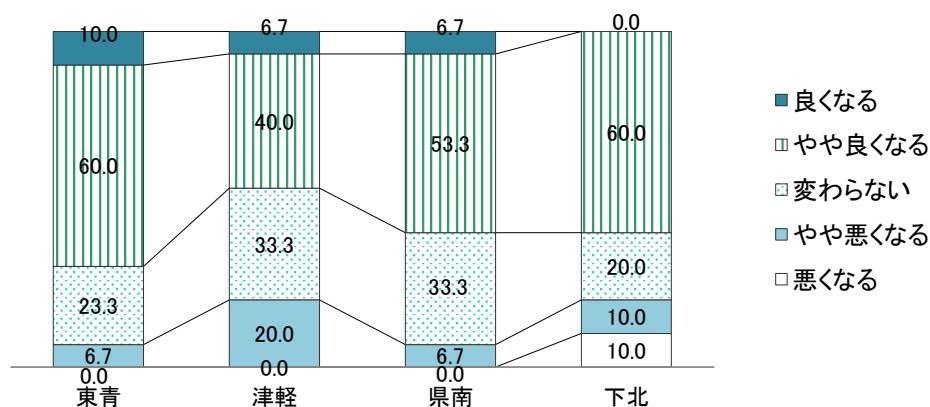
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較  
(地区別)



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	10.0	6.7	6.7	0.0
やや良くなる	60.0	40.0	53.3	60.0
変わらない	23.3	33.3	33.3	20.0
やや悪くなる	6.7	20.0	6.7	10.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0	10.0

3カ月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比 (%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

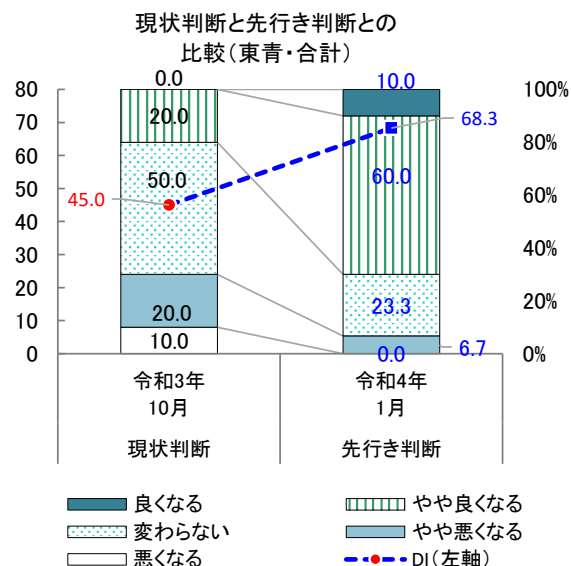
	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	49.2	33.3	50.0	47.5	68.3	20.8
家計関連	51.1	35.9	54.5	51.1	68.5	17.4
小売	52.8	41.7	52.8	44.4	66.7	22.3
飲食	58.3	16.7	58.3	66.7	75.0	8.3
サービス	50.0	33.3	56.3	55.6	75.0	19.4
住宅	37.5	50.0	50.0	37.5	37.5	0.0
企業関連	43.8	25.0	37.5	37.5	68.8	31.3
雇用関連	41.7	25.0	33.3	33.3	66.7	33.4

③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和3年 10月	先行き判断 令和4年 1月	差
合 計	45.0	68.3	23.3
家計関連	44.6	68.5	23.9
小売	47.2	66.7	19.5
飲食	16.7	75.0	58.3
サービス	47.2	75.0	27.8
住宅	62.5	37.5	▲ 25.0
企業関連	43.8	68.8	25.0
雇用関連	50.0	66.7	16.7

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和3年 7月	先行き判断 令和3年 10月	差
良くなる	0.0	10.0	10.0
やや良くなる	20.0	60.0	40.0
変わらない	50.0	23.3	▲ 26.7
やや悪くなる	20.0	6.7	▲ 13.3
悪くなる	10.0	0.0	▲ 10.0



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

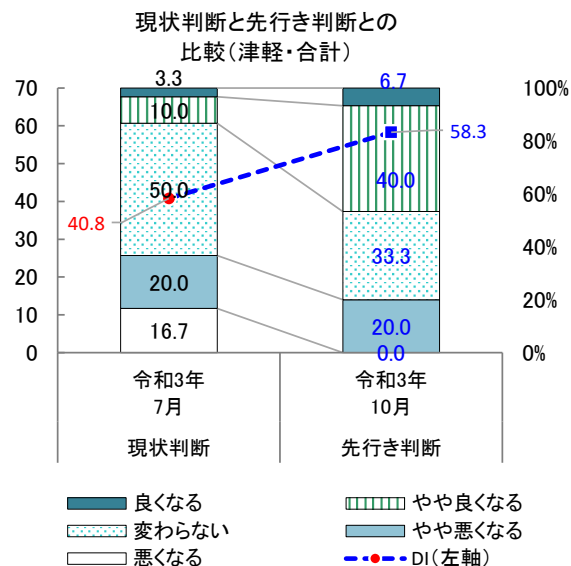
	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	49.1	42.5	54.2	50.0	58.3	8.3
家計関連	56.0	42.0	53.4	50.0	63.6	13.6
小売	58.3	38.9	52.8	41.7	61.1	19.4
飲食	50.0	41.7	66.7	58.3	66.7	8.4
サービス	64.3	43.8	50.0	62.5	65.6	3.1
住宅	25.0	50.0	50.0	25.0	62.5	37.5
企業関連	33.3	33.3	50.0	45.8	33.3	▲ 12.5
雇用関連	25.0	75.0	75.0	62.5	75.0	12.5

③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和3年 10月	先行き判断 令和4年 1月	差
合 計	40.8	58.3	17.5
家計関連	44.3	63.6	19.3
小売	44.4	61.1	16.7
飲食	58.3	66.7	8.4
サービス	34.4	65.6	31.2
住宅	62.5	62.5	0.0
企業関連	25.0	33.3	8.3
雇用関連	50.0	75.0	25.0

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和3年 10月	先行き判断 令和4年 1月	差
良くなる	3.3	6.7	3.4
やや良くなる	10.0	40.0	30.0
変わらない	50.0	33.3	▲ 16.7
やや悪くなる	20.0	20.0	0.0
悪くなる	16.7	0.0	▲ 16.7



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

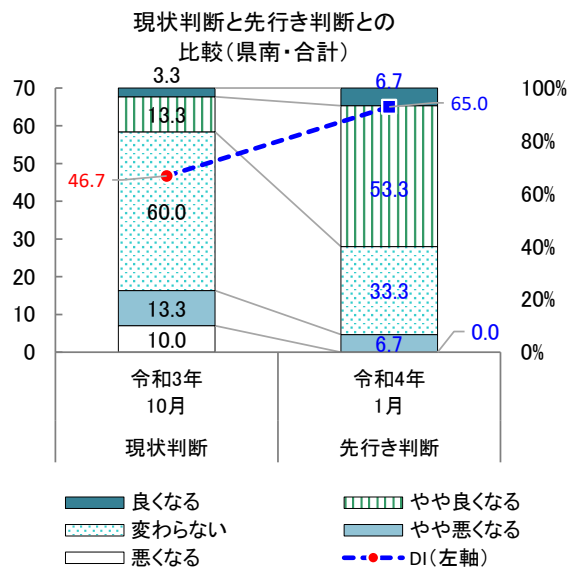
	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	47.5	37.5	48.3	60.0	65.0	5.0
家計関連	45.2	39.3	52.4	57.1	65.5	8.4
小売	33.3	33.3	50.0	55.6	63.9	8.3
飲食	41.7	41.7	58.3	66.7	83.3	16.6
サービス	60.7	46.4	57.1	60.7	64.3	3.6
住宅	50.0	37.5	37.5	37.5	50.0	12.5
企業関連	46.4	28.6	35.7	64.3	64.3	0.0
雇用関連	75.0	50.0	50.0	75.0	62.5	▲ 12.5

③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和3年 10月	先行き判断 令和4年 1月	差
合 計	46.7	65.0	18.3
家計関連	45.2	65.5	20.3
小売	38.9	63.9	25.0
飲食	50.0	83.3	33.3
サービス	46.4	64.3	17.9
住宅	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	53.6	64.3	10.7
雇用関連	37.5	62.5	25.0

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和3年 10月	先行き判断 令和4年 1月	差
良くなる	3.3	6.7	3.4
やや良くなる	13.3	53.3	40.0
変わらない	60.0	33.3	▲ 26.7
やや悪くなる	13.3	6.7	▲ 6.6
悪くなる	10.0	0.0	▲ 10.0



<下北地区> (参考) ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 10

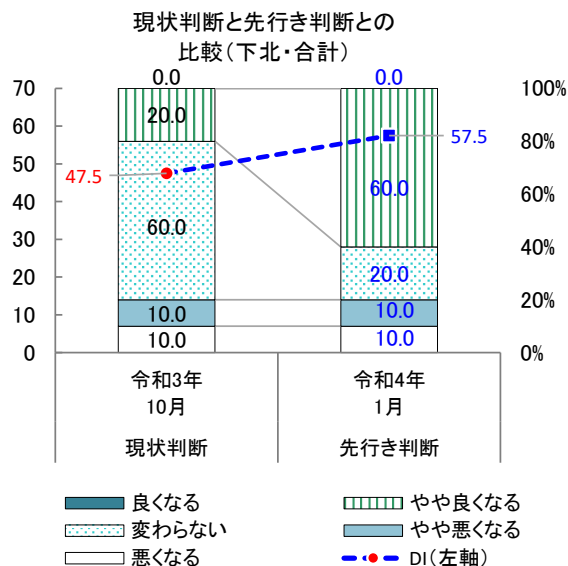
	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	前期調査 との差
合 計	47.2	30.6	55.0	60.0	57.5	▲ 2.5
家計関連	43.8	34.4	52.8	58.3	55.6	▲ 2.7
小売	33.3	25.0	58.3	58.3	50.0	▲ 8.3
飲食	37.5	33.3	41.7	66.7	50.0	▲ 16.7
サービス	58.3	41.7	58.3	50.0	66.7	16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	0.0	75.0	75.0	75.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

③ 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和3年 10月	先行き判断 令和4年 1月	差
合 計	47.5	57.5	10.0
家計関連	52.8	55.6	2.8
小売	50.0	50.0	0.0
飲食	50.0	50.0	0.0
サービス	58.3	66.7	8.4
住宅	-	-	-
企業関連	0.0	75.0	75.0
雇用関連	-	-	-

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和3年 10月	先行き判断 令和4年 1月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	60.0	40.0
変わらない	60.0	20.0	▲ 40.0
やや悪くなる	10.0	10.0	0.0
悪くなる	10.0	10.0	0.0



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	津軽	一般小売店	4月～6月は前年比78.3%であったが、7～9月は98.8%に回復した。
		県南	スナック	ワクチンの接種率の上昇。
やや良くなっている	家計	東青	住宅建設販売	住宅の受注棟数の増加。住まい給付金や、住宅ローン減税に対する駆け込み需要の大幅増。
			美容院	全体(コロナも含めて)に回りはじめているのはわかります。
			旅行代理店	全国的にコロナ感染者も減少し、景気も上向きになっている様子。
			衣料専門店	県内のコロナ感染者が急激に増えている反面ワクチン接種者が増えている事から安心感が出てきたようです。来店者の顔色も変わりました、将来に向かってよいムードです。
		津軽	パチンコ	客数が増えてるから。
			設計事務所	新型コロナの影響で建設等の事業投資を控えていたクライアントが動き始めてると思います。
			一般飲食店	少しずつ県外のお客が増えている。
		東青	商店街	街中を歩くお客が増えてきた。スーツケースを引っ張る通行人も多いこと。
			県南	住宅建設販売
		家電量販店		県内コロナ感染者の減少や気温低下に伴い、暖房商品の実績が伸びてきている。又、新型スマホ、格安スマホは好調で巣ごもり生活はまだ継続していると思われる。
		下北	スーパー	ワクチン接種2回目を終えた方々が85%越えたこともあり、マスク等しっかり防護対策をした子供から祖父母までの家族連れの外出機会が増え、活気が出てきている。孫へのお買物等自分以外への購入が増えています。
			都市型ホテル	都内の緊急事態宣言の解除、コロナワクチンの接種状況などにより人の流れが戻りつつある。
企業	東青	広告・デザイン	県のコロナ対策解除、ワクチン接種の進行状況、国の行動制限緩和準備の動き等から。	
		県南	建設	ワクチン接種も2回を終えた人が多くなり、徐々に街中や様々な行動に人の動きが見えてきている。家族での飲食やゴルフ交遊など徐々に増えてきているように見える。
			経営コンサルタント	中小企業は、コロナ禍の中での経済活動に慣れてきた面はあります。クライアントの中には、巣ごもりで拡大した電子商取引を捉えて商圈を大きく広げた企業も多くあります。
変わらない	家計	東青	卸売業	コロナウィルス感染者増にともない飲食店の酒類提供等制限が掛かり、売上減、スーパー等も天候等の影響を受け、飲料、ジュース等売上減になっている。
			一般飲食店	長く続く出控えによって来店されるお客様の数は増えません。むしろ後をひくのか様子を見ているのか、とにかく静かです。
			ガソリンスタンド	コロナ禍も落ち着いてきたが、以前の経済状況に回復するには、もう少し時間が必要。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	設計事務所	国際イベントが大過なく終了しましたが地方には何らの経済的な恩恵、効果もなく寂しい限りです。テレビ観戦が唯一の楽しみ方でした。
			一般小売店	9月の青森県独自のコロナ感染防止策が景気の減退に大きく影響した。
			乗用車販売	先行きが見えない経済状況の中でやはり個人消費が落ち込んでいるようにみえるため。また、さまざまな食品等の値上げも個人消費には影響していると思うため。
			タクシー	首都圏の緊急事態宣言の終了や青森県独自の制限プログラムは解除となりましたが、この1年半以上人にも会わず、行事も制限され、仕事&自宅の引きこもりの様な日々の暮らしに体が慣れ切ってしまった事と、まだぬぐい切れない今後に対する不安感が人々の行動を抑圧させているので、目に見える良い変化はすぐには表れてこないと思われます。
			コンビニ	コロナの影響かと思う。イベント会場やホテルなど利用客が少ない為かと。
			観光型ホテル・旅館	ワクチン接種状況が進むにつれ少しずつ観光客は戻ってきてはいるが、相変わらず例年並みには程遠い状況である。
			競輪場	職場が9月中コロナの影響で閉鎖されたため、お客の動向が把握できない。
		津軽	美容院	感染症に対する警戒感は依然変わらない。
			都市型ホテル	底を打ったまま推移している。
			レストラン	飲食店を利用されるお客様は3ヶ月前とだいたい同人数なので。
			衣料専門店	コロナで3カ月前も悪いので。
			住宅建設販売	動きが鈍化していると思うから。
		県南	商店街	コロナウイルスのワクチン接種は少しずつ進んでいるが、まだまだ未接種の方が圧倒的に多く、人の動きが感じられない。
			百貨店	店の状況が悪くなっている（3カ月前より販売している商品のカテゴリーが減少している）ので、景気の上下と売上の減少との関連が判断つかない状況にある。
			美容院	来店頻度があまり変化なく感じます。
			タクシー	兎に角街に人が出てこない。出て来ても必要最小限の用事を足して帰る。緊急事態宣言が解除されても、以前と変わらず昼も夜も人がいない。
			ガソリンスタンド	依然として、コロナ感染症の影響により。
			スーパー	市を中心にコロナ感染拡大、ワクチン接種効果はまだ先。
			観光名所等	3カ月前よりは、若干いいと思うが、まだまだ比較にならない。
			設計事務所	同業他社の業績が下がっている。
			一般小売店	コロナワクチン接種率が上がっているが、売上の回復と同調していない。
		下北	コンビニ	外に出歩かない。
			ガソリンスタンド	コロナ感染予防の為、旅行関係、飲食店は例年の半分以下なところが殆どです。夏祭りもなく、お盆の帰省客も全然でした。
			一般飲食店	今までがそうであったようにすぐには変わらない。
			タクシー	昨年コロナが始まってから下がったままです。
			レストラン	一般カルトの来店はあるが、宴会需要が無いため。



現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	東青	経営コンサルタント	3ヶ月前のワクチン接種が始まりつつあった頃から比べると、ワクチン接種はかなり進んできている。自粛ムードはあるものの購買意欲は増加している。しかし、製造業及び車販売・百貨店・ホームセンター等の小売業の売上・利益が下降気味になりつつある。
			電気機械製造	7～9月の東南アジアのロックダウンで部品の入手が難しい物が出ていて生産調整している。また、日本は緊急事態宣言が終わったが、引きつづき来県来社の方は少なくビジネスは停滞感です。
			飲料品製造	全国的なコロナ感染拡大第5波の影響で、ホテル、飲食店などの状況は改善せず。制限長期化でひきこもり需要も一頃より鈍くなっている感じがする。
			紙・パルプ製造	新型コロナの緊急事態宣言等の制限は解除されたが、まだワクチン接種が完全に終了しておらず、生活に制約が残っている。
			広告・デザイン	宣言解除となっても、すでに中止が決まっているイベントはそのまま。お客様も様子見状況で以前のような集客イベントは予定なし。
	雇用	東青	新聞社求人広告	新型コロナウイルス感染の収束がみられず、感染拡大防止に重点をおいた社会、経済活動が続いている。
			人材派遣	企業からの求人が増加しているが、求職者が少なく人手不足の状態。しかし、景気の上向きによる求人増加なのかは不明であり、今後も景気が上向く要因の見当がつかないため。
		津軽	新聞社求人広告	県の緊急対策が9月末で終了して公共施設などに活気が戻ってきたものの、景気は一進一退。
			人材派遣	最近若干感染者はやや少なくなっているようだが、相変わらず新型コロナ感染を警戒して外出を控えるケースが続いている模様。
やや悪くなっている	家計	東青	百貨店	8月後半の感染症拡大以降、来店客数・売上とも大きく減。
			都市型ホテル	緊急事態宣言の影響で、宿泊利用が減少し、宴会利用も更に入らなくなった。悪い状況で現状維持している。
			パチンコ	コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるのにお客様の戻りが悪い。
			家電量販店	新型コロナウイルス感染者は減少傾向にあります。今まで制限されていた旅行、大規模なイベントは需要が伸びると見込まれますが、日々の暮らしに密着した商品を扱うホームセンターは節約志向が続く、厳しくなると予測されます。
			観光名所等	8月は盛り返したものの、県の新型コロナ緊急対策により、9月の1ヶ月間休館したため。
			スーパー	来店頻度が減り、客数減少。客単価も横ばいで厳しい状況が続いています。
		津軽	ガソリンスタンド	コロナウイルスの感染拡大防止に向けた行動自粛や企業の時短要請などにより販売数量の落ち込み。
		県南	パチンコ	8月くらいから全国的にコロナ感染拡大になり、9月には青森県でも急拡大した影響が出ている。
			コンビニ	お盆頃からの気温の低下。コロナ感染者の増大。
		下北	一般小売店	むつ市内もコロナが発生し、8月には大雨による災害が発生したため。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	企業	津軽	経営コンサルタント	9月公共の施設関連が県の要請で閉鎖された影響で、9月の売り上げが悪化している事業所がある。飲食店では、いつの間にか閉店している店舗がちらほら見える。
			食料品製造	食品等物価が上がっている。
			飲料品製造	取引先からの間取りで。
			電気機械製造	生産のピークが過ぎたため。
	雇用	県南	新聞社求人広告	青森県内、特に八戸市でコロナ感染が広がり、イベント中心に中止や、延期が相次いでいるため。
悪くなっている	家計	東青	レストラン	解除になったからと言って首都圏のような動きがあるわけではない。
			スナック	変わらず悪い毎日、灯りが見えませんがどうにか頑張っております。
		津軽	商店街	コロナ感染者がお盆以降増えたため。
			コンビニ	クラスターが発生した影響で部活動など外出する事が無くなり売上は下降している。
			観光型ホテル・旅館	休館中のため。
			観光名所等	観光関連、サービス業の大半は静まり返っている。コロナ禍の影響でコロナ関連医療は超多忙ですが、その他の医療機関は手が空いていた。木材の値上がりや各種工事関連は忙しそうにみえた。嶽きみは売れ行き好調。本マグロ釣り禁止を残念がり立ち寄った客が数組時折みられた。
		県南	一般飲食店	当地でもコロナ陽性者が続出し、街中は閑散としており、自粛ムードで客先がガタ落ちの状態である。
			卸売業	緊急事態宣言の為に人流がなくなった。
			衣料専門店	8月以降の市内/県内のコロナ感染者増加による外出控えによる来館客数の減少。
	企業	東青	食料品製造	海水温度の上昇や海上状況の影響で時化などが続き、入荷する魚がない状況が続いています。
		津軽	広告・デザイン	見積依頼の減少、売上額の減少、物件数の減少。
		下北	食料品製造	コロナ禍の中、9月は県、市町村の施設が閉鎖され売場も休業し、商品が動かない。

## (2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	卸売業	ワクチン接種2回目も終了して行き、緊急事態宣言も解除になり、人の動きが変わる。対策を重ねて行く事で景気は良くなって行くと思う。
			観光名所等	休館よりは良い。
			一般小売店	新型コロナ新規感染者減による緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の解除、各観光地や夜の街の賑わい復活のマスコミ報道など、消費者のマインドと行動が大きく変わると思われる。
		津軽	設計事務所	官公庁発注の仕事は少ないものの、民間の仕事が昨年と比較すると大幅に増加している状況を感じます。
		県南	スナック	ワクチンの接種率の上昇。
			レストラン	良くなってほしい。ワクチン接種も終わってきていて、少しずつ外食する人たちが増えている。
	雇用	津軽	新聞社求人広告	全国的に新型コロナ感染者の激減とともに行楽や観光が動き出す。それに年末年始需要にも期待。
やや良くなる	家計	東青	都市型ホテル	想定される県民CPNやGTTによる需要増。忘年会の開催可能性。
			コンビニ	良くなって欲しいと思います。イベント広場やホテルの利用客が多くなってくると景気も少し良くなると思う。
			商店街	ワクチン接種も進み、新型コロナウィルスの感染も減少し、活動が回復してくると思うことから。
			旅行代理店	GOTOトラベルも始まれば、全国的に活気がもどってくると思います。
			一般飲食店	さすがに状況は改善しているので、慣れてきていて少し良くなるのかと思う。
			衣料専門店	コロナ対策に光が見えてきているからです。ワクチン接種者増加、GOTO等の経済対策、行動規制緩和、コロナ治療薬など。
			美容院	一年の最後の3ヶ月という事も要因の一つだと思います。
			タクシー	これから年末に向けて、今までに比べれば少しだけでも人の動きは回復してくるのではないかと考えられますので、希望的観測も含めて「やや良くなる」を選択しました。
			スナック	良くなるように心から期待している毎日ですが、見当がつきません。やめるのは簡単ですが、負けずに頑張ります。
			レストラン	年末シーズンだし、そのころには人の動きもあるのでは…。
			観光型ホテル・旅館	10月以降は個人客の予約が増えそうな傾向ではあるが、相変わらず県外からの人流について否定的な雰囲気が残っている。それでも観光客は来るが、積極的でなくてよいので少なくとも接種証明や陰性が確認された人の移動については否定しないような広報をしない限り、例年並みの観光客は戻ってこない。県の宿泊キャンペーン早期全面再開や積極的な広報を要望したい。
			競輪場	緊急事態宣言解除による反動が期待できる。
		津軽	都市型ホテル	コロナワクチンの一巡による鎮静化に期待する。
			一般小売店	人流はよくないが、コロナ感染者が減少してきている。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	家計	津軽	旅行代理店	ワクチン接種が進み新型コロナウイルス感染患者数が減り、経済が動き出す期待を込めて。
			商店街	色んな補助金を利用して各組合や協会などで販促イベントを多数開催している。
			美容院	ワクチン接種が大分行き渡って、安心感が経済活動を後押ししている。
			レストラン	緊急事態宣言が解除になり、皆が旅行等をするようになると思われるため。
			家電量販店	ワクチン接種の進行。
			観光名所等	歯科医やその他の医院を訪問しての会話や業界関係者との談話から。獄きみについて、朝市の売れ行き状況は売れ行き好調。お帰り願うが、毎日「わナンバー」の来場者がある。
	家計	県南	旅行代理店	青森県のおでかけキャンペーンが始まり、徐々に旅行需要も高まってくると期待される。
			百貨店	コロナの感染状況が日々回復に向かっており、ワクチン接種率も上がっているため。店内の客数や商店街の人通りも増えており、また他店においても季節商品を買求める人で賑わいが戻りつつある。
			衣料専門店	コロナ第5波の収束傾向及びワクチン接種の進行。
			タクシー	期待している。いつも期待は裏切られる。でも、期待する。市長選、そして、衆議院議員選挙。大きな期待はしないけれども少しは変わって欲しい。
			美容院	コロナ自粛の解除による自由度や外出頻度によるオシャレの必要性を期待しています。
			スーパー	全体的に見れば、行動範囲が広がった分良くなると思うが、その反面これまでのように感染拡大すれば元に戻る。
			一般小売店	コロナが収束して来ても、コロナ前の年末年始にはならないと思うが、原油の高騰や部品不足(アジア工場の)によって物価が上がる為、購売欲が上がる。
			家電量販店	県内コロナ感染者の減少や気温低下に伴い、暖房商品の実績が伸びてきている。又、新型スマホ、格安スマホは好調で巣ごもり生活はまだ継続していると思われる。
		下北	ガソリンスタンド	ワクチン接種の2回目が終わった人が8割以上になり、旅行や飲み会に行く機会が増えると思われる。
			都市型ホテル	年末・年始を前に、景気の底を脱した感がある。
			スーパー	今冬のコロナ・インフルエンザ等の感染拡大次第ではあるが、前年よりも帰省に関する人々が増加すると見込まれているため、流動的に消費が増加するため。
			レストラン	むつ市はワクチン接種が進んでいる為。
	企業	東青	広告・デザイン	県のコロナ対策解除、ワクチン接種の進行状況、国の行動制限緩和準備の動き等が功を奏する事を期待して。
			建設	政府の景気対策が動き出す事に期待する。
			食料品製造	願望です。
		県南	紙・パルプ製造	新型コロナのワクチン接種が進み、経済活動が少しずつ回復することへの期待感。
			経営コンサルタント	ワクチンの接種率の拡大で、少しずつ従来型の人流に応じた経済活動に戻れば、今我慢している飲食関係などの業種も息を吹き返す。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	企業	県南	電気機械製造	日本も海外も新型コロナの感染再拡大があるかないかに左右されると思う。その中で一定の対処法が定まって、人の往来や活動が始まって少しは景気回復してもらいたい。
			建設	ワクチン接種の効果か、感染者数が全国的に減少傾向にあり、飲食や観光にも少しずつ光明が見えてくるのではと思う。しかし、今度はワクチン接種で感染しても自覚症状が出にくいことから、感染対策を怠っているとまた感染を広げるリスクも残っている。
			広告・デザイン	宣言解除により少しばかりは経済活動が積極的になるかも、という希望的な見方。後は岸田新内閣の経済対策に期待。
	雇用	下北	食料品製造	国のトップが変わり、コロナもある程度治まり、良くならなければその先もたない。
			新聞社求人広告	ワクチン接種が一通り進み、コロナ禍より前と同じ水準にすぐに戻るとは思えないが、徐々に回復すると（期待を込めて）思う。ただ、クラスターがいまだに発生しているので、楽観はできないと思う。
			人材派遣	ワクチン接種が進み、経済活動が活発化すれば人流増加し各事業の動きが活発化するとみられるため。
変わらない	家計	東青	パチンコ	業績不振のまま、年末に向かいそう。
			百貨店	年未年始の人の移動次第で年明け1月に8月同様の現象が起きそう。
			設計事務所	トップリーダーが代わり、掲げた政策がトーンダウンして地方に及ぼす景気対策は期待できない。我々には慎ましい生活が強いられるような雰囲気が続くそうですね。
			乗用車販売	景気が良くなる点が見当たらない。これから爆発的に人の動きが良くなるとは思えないし、個人消費の面からいっても買え控えが続くと思うため。
		津軽	パチンコ	コロナの状況が見えないので、正直分からない。
		県南	観光名所等	商品に変化がないため、このままだと思う。
			商店街	緊急事態宣言等が解除され、人や物の動きが増加するが、今のところ第6波の懸念を払拭する材料が乏しい。
			一般飲食店	コロナワクチンが若年層までしっかり行き届かないかぎり、まだまだ以前の様な状態には難しいような感じがする。県内、予断を許さない状態。早くゼロにならなければしんどい環境から抜け出せない。
			ガソリンスタンド	個人消費の回復を期待したいが、自粛傾向が大きく変わるとは思われないことから。
			パチンコ	これから冬にかけて、コロナ感染の不安がある。また、一度落ち込んだものを動かすには何かきっかけも必要。
			コンビニ	先が、終わりが見えない。
			設計事務所	不可解なコストカットが多いように感じる。
		下北	一般小売店	コロナのワクチン接種も大体終わりましたが、まだ様子見の感じで景気が良くなるにはまだ時間がかかると思う。
			タクシー	3カ月では今と変わらないと思います。早く良くなっていたきたいです。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	東青	経営コンサルタント	青森県のワクチン接種は、10月で1回目接種が約7割となっており、ワクチン接種後の変異株への感染も心配される。9月30日で首都圏の緊急事態宣言が解除された後、地方も人流が多くなり、それに刺激され購買意欲が高まってくると思われる。しかし、製造業や一部の小売業の売上・利益が下降気味になる可能性がある。
		津軽	広告・デザイン	コロナ騒動が終えない限り、悪い状況のままで変わらないと思う。
		県南	飲料品製造	制限の解除で徐々に人出の動きは出てくると思うが、様子見の状況は続き、そのまま飲食に対しての動きはまだ先になりそう。
	雇用	県南	新聞社求人広告	冬に第6波が来ると予想されているため。
やや悪くなる	家計	東青	住宅建設販売	住宅購入を後押しする政策が全くないため。
		東青	家電量販店	ガソリンなどの燃料代が上がっており、冬に向けた節約志向は強まると予測されます。
		津軽	ガソリンスタンド	未だにコロナの終息が見込めず、製造業を生業としている企業・ホテル・観光・飲食業界に於いても、景気回復の目処は厳しい状況にある。
		津軽	住宅建設販売	住宅建設を進めたいと思っても、ウッドショックによる木材の高騰や納材の遅れ、他部材の値より大きく、時期を定められない。
		県南	卸売業	ワクチン接種が進み、安心感はあるがやはりお正月で帰省したり、人流が活発になると、感染者が増えることが懸念される。
		下北	コンビニ	マスメディアが大げさに新型コロナ報道をして日本は情けない。
	企業	津軽	電気機械製造	今後の動向にもよるが、生産は徐々に減少して行くため。
		津軽	経営コンサルタント	11月に入ると積雪の影響が出てくる。今年は米価が低いということで農家の収入減が懸念されているので、その分消費も抑えられるのではないかと。
		津軽	食料品製造	寒くなる季節なのでいろいろ経費がかかるため。
	県南	食料品製造	物価上昇。	
悪くなる	家計	下北	一般飲食店	10月から物価は上がるし、野菜(特に葉物)は高いし、相変わらず人出はないし、続けて行こうという気力がなくなる。



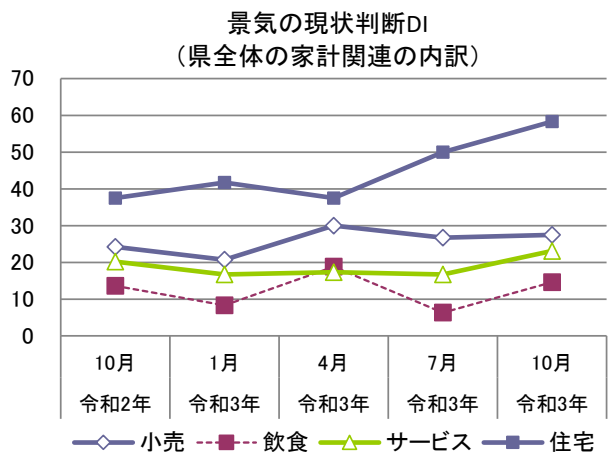
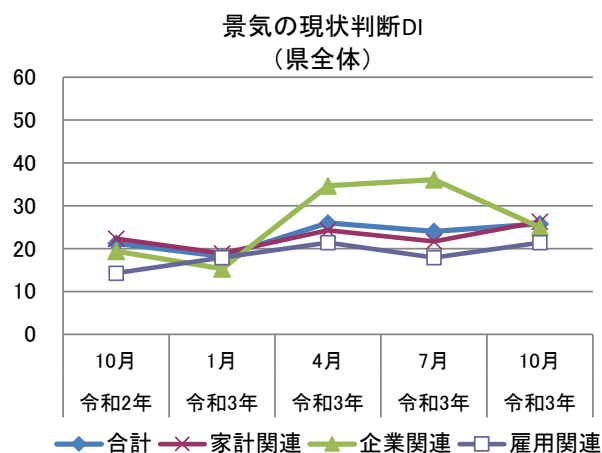
# 5. 参考

## (参考1) 景気の現状判断

### ①DI

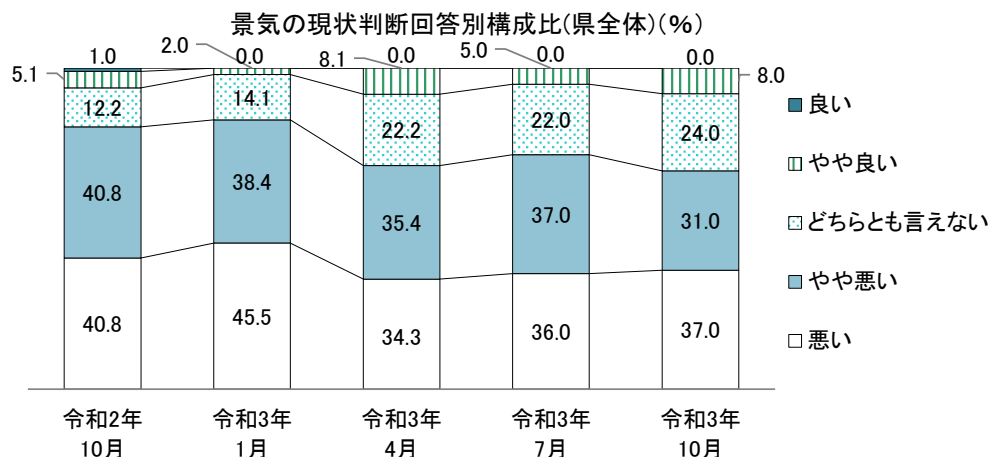
n = 100

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
合 計	21.2	18.2	26.0	24.0	25.8	1.8
家計関連	22.3	18.9	24.3	21.7	26.3	4.6
小売	24.2	20.7	30.0	26.7	27.5	0.8
飲食	13.6	8.3	18.8	6.3	14.6	8.3
サービス	20.2	16.7	17.3	16.7	23.1	6.4
住宅	37.5	41.7	37.5	50.0	58.3	8.3
企業関連	19.4	15.3	34.7	36.1	25.0	▲ 11.1
雇用関連	14.3	17.9	21.4	17.9	21.4	3.5



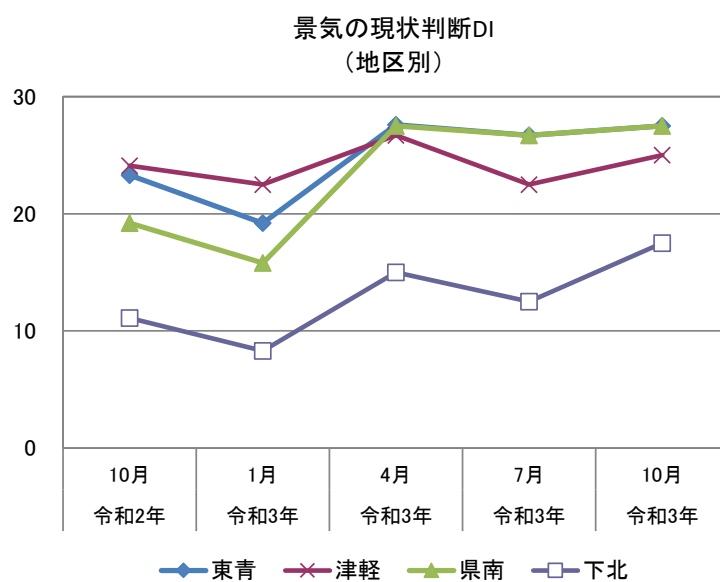
### ②回答別構成比 (%)

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
良い	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	5.1	2.0	8.1	5.0	8.0	3.0
どちらとも言えない	12.2	14.1	22.2	22.0	24.0	2.0
やや悪い	40.8	38.4	35.4	37.0	31.0	▲ 6.0
悪い	40.8	45.5	34.3	36.0	37.0	1.0



③地区別DI

	令和2年 10月	令和3年 1月	令和3年 4月	令和3年 7月	令和3年 10月	前期調査 との差
合 計	21.2	18.2	26.0	24.0	25.8	1.8
東青	23.3	19.2	27.6	26.7	27.5	0.8
津軽	24.1	22.5	26.7	22.5	25.0	2.5
県南	19.2	15.8	27.5	26.7	27.5	0.8
下北	11.1	8.3	15.0	12.5	17.5	5.0





(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	コンビニ	良くなって欲しいと思います。イベント広場やホテルの利用客が多くなってくると景気も少し良くなると思う。
		百貨店	催事・期間限定企画や商品などには動きがある。食品・住関連は売上安定。依然として衣料品が厳しい。
		スーパー	地域経済対策として実施した青森市プレミアム付商品券は、前回より使用枚数は110%と増えましたが、売上高は前年を下回りました。節約志向が高まっていると思います。
		衣料専門店	日々のコロナ対応は疲労気味ですが、街中の活性化建設は休み無しで進んでいます、青森駅の東西通路完成、新駅舎建設、商業施設+マンション建設、ホテル開発などなど23,24年度完成で夜間人口が増える、新駅舎には美術展示スペース、市民ホールは横並び、交差点の通りは商工会議所、市駅前庁舎、青森県庁、合同庁舎等、官公庁街と文化施設が重なり、あたりは一新し、経済効果がかなり期待できる。
		家電量販店	ワクチン接種が増え、感染者が減少したことで先行きに明るさも見られます。
		一般小売店	延期されていた修学旅行などの行事や各種イベント等が一気に活性し始めている。
		卸売業	業務用酒販店の注文が増えている。
		一般飲食店	私たちの地区は市民というより市外の方に影響される部分も多いので、多くの観光の方がお見えにならないときついです。
		レストラン	まだまだ人の動きがないので、GOTOのようなサービスを引き続きやってほしい。
		スナック	(来店について) 上司が厳しすぎる話をよくに入ります。2、3人でしたら考えて頂きたいです。経営者だって人一倍気を遣ってますのに。
		観光名所等	緊急事態宣言区域からも多くの方がお越しになっている。
		タクシー	とにかく飲食店を中心とした店舗の「閉店」が目立って仕方ありません。この様な知らせを聞くたびに気持ちが暗くなってきてしまいます。もしコロナ禍が過ぎ去った後も、身の回りは戦後の焼け野原の如くで、復興までにはかなりの時間を要するか、あるいはもう元の様な日々は戻ってこないのでしょうかね。
		美容院	コロナがまだある以上は出歩くのは、ひかえめだと思う。
		住宅建設販売	建築部材の不足、納期未定商品の大幅増。
	津軽	一般小売店	飲食街の夜の人出は少しずつではあるが戻ってきている。
		一般飲食店	未だに官庁・会社・病院・銀行等での宴会禁止令があり、先行きの不安がある。
		観光名所等	原子力関連で一部の周辺の人達が喜ぶ話題がある。折角落ち着いているのに、政治で振り回さないで欲しい。
		旅行代理店	会合等が再開され始めた。
		美容院	コロナ以前のTVや新聞などの広域的な広告が減り、SNSなどスマホを介したパーソナルな広告に変わりつつあるような気がする。
	県南	商店街	長期間に渡って生活パターンが変わったため、新しい価値観を持つ人が増えているように感じる。
		百貨店	近隣の行政での取組(プレミアム販売関連)など反応が良く、イベントも徐々に行われている。人が集まる事に対してコロナ禍以前に戻りつつあるが、市の飲食店は未だにお客様が戻っておらず経営は厳しい状況が続いている、という声が未だ強く聞かれる。歩行者天国までいなくても中心街で飲食イベントを開催できないかと思う。
		卸売業	プレミアム商品券が使われておりますが応援券は飲食店・小規模店でしか使えないために弊社の小規模店がご利用される方が増えている。この感染状況の中、飲食に行く者は限られていることが背景にあるとおもわれる。

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	一般飲食店	公立学校だけ規制して、何故私立は規制から外れているのか理解できない。もう一度持続化給付金を行っていただければ、各々の店舗はもたない。特に飲食業は・・・。
		スナック	ワクチン打ちましたと、断って入店する方が増えた。
		観光名所等	八戸市からの観光客の流れが多いためか、売上が少し良くなっている。
		美容院	コロナの経済面の落ち込みがあまり気になりませんが、一般的には大変だろうと心配しています。
	下北	コンビニ	むつ市に感染者が出ると、過剰反応があり、情けない。
		一般飲食店	給付も出たり出なかったり死活問題です。
		ガソリンスタンド	原油高騰でガソリンや灯油が値上がりし、家計や会社の経費の圧迫が懸念される。
企業	東青	建設	子ども(小中高大)への経済的、精神的なケアが必要だと思います。
		経営コンサルタント	半導体の供給制限は続いており、中国の電力不足による工場閉鎖等により、様々な分野への影響が懸念され、全国及び地方経済へのダメージが大きくなる恐れがある。
		広告・デザイン	自粛していた広告やプロモーション活動が徐々に再開しつつある。
	津軽	食料品製造	食品の原材料の仕入れ価格が上昇しているので、値上げをしなければ利益が取れなくて非常に厳しい状況にある。自助努力も限界である。更に最低賃金の上昇も拍車をかけている。
		建設	コロナ禍の中、首相が変わり、日本は、変わってくれるのか。コロナが終息しないうちは、経済の立て直しが出来ないと言わせないような政策をしてほしい。今後、コロナ感染者が減少した後、県内の景気回復を期待している。
		広告・デザイン	コロナ禍で活発な営業活動が行えない状況が続いている。政府による強力な経済対策に期待したい。
	県南	電気機械製造	人数は少ないが人口比では多い青森県の感染者数、来社を検討している方からよく指摘を受ける、感染した人を責める気はないが、正直恥ずかしい。
		広告・デザイン	特別、特徴的な動きはみられないが、年内に何十兆円規模の経済対策を明確にしてもらいたい。
	下北	食料品製造	大型店・S.C等の売上（人出）が土日、祭日が悪い。場所によって違いはあるだろうが、やはり、人混みを避けているのでしょう。
雇用	東青	新聞社求人広告	米価の下落が予想されることで、農家の消費意欲、購買行動がマイナスに向かうような感じがしています。

# 青森県景気ウォッチャー調査について

## 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地 区	対 象 地 域	調 査 客 体 数			
		合計	家計	企業	雇用
東 青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津 軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県 南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下 北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小 売	コンビニエンスストア、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲 食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ店、競輪場、ガソリンスタンド
	住 宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

### (2) 調査事項

① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由

② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

### (3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

## 2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166 (直通)

fax : 017-734-8038